

## 多様な生徒に対応するアウトプット活動を 取り入れた指導の研究

R7年度授業力向上推進プロジェクト委員会  
瑞浪高等学校 三輪 奈央美

1

## 目次

1. テーマ設定の理由
2. 研究の目的
3. 取り組み内容
4. 成果
5. 課題
6. まとめ

2

## 1. テーマ設定の理由

### 1)生徒の英語力の個人差が激しい

- ・基礎的なことは身につけているため、上を目指せる生徒
- ・基礎定着に時間を要する生徒
- ・支援を必要とする生徒

### 2)アウトプット活動の設定が難しい

- ・どのレベルの生徒も取り組める活動
- ・英語力の高い生徒のモチベーション維持につながる活動

3

## 2. 研究の目的

### 段階的な活動の設定

- ・インプットとアウトプットを組み合わせた指導
- ・グループワーク・ペアワークの活用



- ・誰もが無理なくアウトプット活動へと入ることができる
- ・協働的な学びを促進させる

4

## 2. 研究の目的

### 選択できるアウトプット活動の設定

- ・難易度の異なる課題を提示
- ・生徒が自分自身のレベルに応じて選択



- ・支援が必要な生徒への配慮
- ・上を目指す生徒のモチベーション向上

5

## 3. 取り組み内容

### 1) 研究対象

- ・普通科1年生67名
- ・論理表現 I
- ・Amity English Logic and Expression I 開隆堂

6

## 3. 取り組み内容

### 2) 生徒の実態把握(4月)

- ・アンケートの実施(苦手な分野・伸ばしたい分野)
- ・「書くこと」と答えた生徒の割合が最も大きい
- ・簡単な英作文を書かせる(自己紹介)

例) S1 I have been to Okinawa.  
S2 Play game is my like.

基礎基本の  
定着に差がある

7

## 3. 取り組み内容

### 3) 段階的な指導(単元の流れ)

- ①クイズなどを用いてインプット
- ②①と似たようなものを用いて部分的なアウトプット活動
- ③教科書の問題等で練習
- ④ペアやグループでの部分的なアウトプット活動
- ⑤選択制のアウトプット活動

- ・①と②の活動を繰り返し行う
- ・ペア活動の導入

8

### 3. 取り組み内容

#### 3) 段階的な指導(授業の流れ①と②のスライド例)

4. You ( ) use your  smartphone when you drive a car.  
must / mustn't ?

How about our school?  
①Students ( ) come to school by 8:35.  
②Students ( ) eat lunch outside.  
③自分で考えて1つ言ってみよう

表現を導入・練習 → 部分的なアウトプット

インプットの後に細かいアウトプットを繰り返す

9

### 3. 取り組み内容

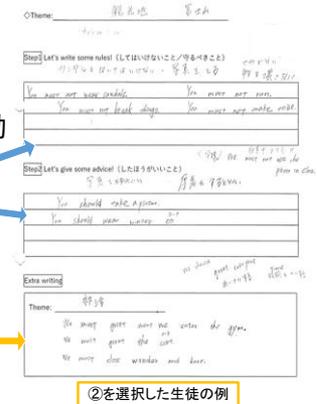
#### 4) 選択制のアウトプット活動

#### 例) 助動詞を使ったアウトプット活動

・観光地でのルールやアドバイスを英語で表現(グループワーク)

・別のグループを作って発表  
・他者の発表内容をメモ

- ①他者の発表内容を再現
- ②自分でテーマを設定して表現
- ①②から生徒が選択する



②を選択した生徒の例

10

### 3. 取り組み内容

アウトプット活動例「世界の人気観光地を比べる」

#### ① 定型表現(比較表現)で観光地ランキングを説明する

例) France is more popular than Spain.

#### ② ランキングに入る理由や感想を加えて伝える

例) I was surprised Spain is more popular than the U.S.  
France is the highest in the ranking because the buildings are so beautiful.

11

### 3. 取り組み内容

#### 5) パフォーマンステストの実施

・授業中の活動を再現

(アウトプット活動の①と同等)

・発展的な内容を加えることは自分で選択

(アウトプット活動の②と同等)

12

### 3. 取り組み内容

#### 5)パフォーマンステスト例「好きな本・映画の紹介」

##### ①受動態を使って基本的な情報を伝える

例)I'm going to talk about "Your name". It is written by Shiina Makoto. It was released in 2016. I like this because the ending is unclear.

13

### 3. 取り組み内容

#### 5)パフォーマンステスト例「好きな本・映画の紹介」

##### ②さらに詳しい情報を加えて伝える

例) 作者や理由に加えて

It was made into a movie in 2024. The story moved me when I read it for the first time.

14

### 4. 成果

#### 1)アウトプット活動への取り組みの変化

・取り組むことができない生徒の割合 **25% → 0%**

・発展課題に取り組む生徒の割合 **20% → 55%**

○段階的な活動 → 「何もできない」という生徒が減少

○選択制の課題 → 「挑戦しよう」とする生徒が増加

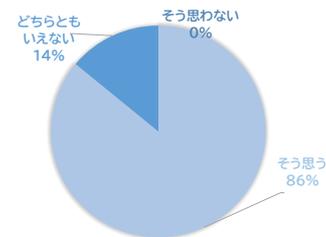
**基本課題を終えた生徒への声かけの効果**

15

### 4. 成果

#### 2)生徒の意識の変化と達成度(アンケート n=63)

Q.各活動は最後のアウトプットに役立ったか？



生徒の感想

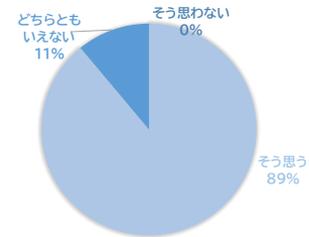
- ・実際に使ったりして自分で文が作りやすくなった。
- ・写真や絵を説明する活動で理解を深めて使えた。
- ・復習できる時間もあるからやりやすかった。
- ・活動がなかったら授業ついていけないと思う。
- ・一気に進むと分からないから、活動あって嬉しかった。

16

## 4. 成果

### 2) 生徒の意識の変化と達成度

Q.課題は自分のレベルに合っていたか？



#### 生徒の感想

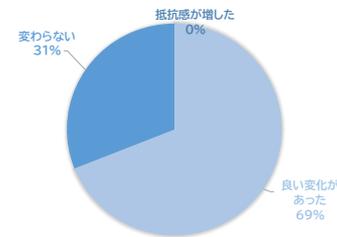
- ・全て難しいけど、頑張ればできると思った。
  - ・レベル別に分かれていて、自分で頑張ろうと思った。
  - ・1つ終わったら、次やってみようという気になった。
  - ・発展は内容は例があればできると思った。
- △基本と発展の間ぐらいの課題があると良かった。

17

## 4. 成果

### 2) 生徒の意識の変化と達成度

Q.英語で表現することへの抵抗感が変化したか？



#### 生徒の感想

- ・完璧には書けないけどやってみようと思えるようになった。
  - ・間違えることは悪いことじゃないと分かった。
  - ・ペア交流のおかげで少し自信がもてるようになった。
  - ・前は何を言えば分からなくて嫌だったけど、使うべき単語や表現が分かるようになって話すのが楽しくなった。
- △内容が自分には簡単だったから変化はなかった。

18

## 5. 課題

### 1) 課題(取り組みから)

#### ・アウトプット活動のバリエーション

基本と発展の2つだけになってしまい、物足りなさそうな生徒もいた。

#### ・基本から発展への橋渡し

発展課題へステップアップするための指導が不足していた。

#### ・レベルの高い生徒への指導不足

支援が必要な生徒に手をかけすぎてしまうことが多かった。

19

## 5. 課題

### 2) 課題(生徒のアンケートより)

#### ・課題の選択肢の増加

段階的な指導と同様に課題にもスモールステップを導入する

#### ・課題のレベルが合っていたかを含めたフィードバック

課題を選択するための目安のようなものを提示する

20

## 6. まとめ

### 取り組みを振り返って

- ・インプットから部分的なアウトプットを繰り返すことで、「何も書けない・話せない」と悩む生徒がいなくなったことは、大きな一歩。
- ・段階を踏むことで、「この活動があったから授業についていけた」と前向きに捉えてくれるようになった。
- ・課題を選べるようにしたことで、「次はこれに挑戦してみよう」という前向きな姿勢が生まれた。

21

## 6. まとめ

### 今後の改善

- ・生徒の「基本と発展の間もほしい」という声を大切に、さらにきめ細やかなバリエーションを増やしていきたい。
- ・上位層の生徒にも、支援が必要な生徒にも、それぞれに「もっと伸ばせる」と感じてもらえるような声掛けの工夫を続けたい。

22

### 参考文献

文部科学省 国立教育政策研究所.

『「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料』, 令和3年8月

浅野雄大, 芹澤和彦, 『中学校・高等学校4技能5領域の英語言語活動アイデア』, 明治図書出版, 2021

上山晋平, 『英語テストづくり&指導完全ガイドブック』, 明治図書出版, 2014

### 使用教材

開隆堂 Amity English Logic and Expression I

23